昭26年 5月3日（水曜日）第284號　磐城毎日新聞　（昭和二十五年十二月第621號大號日）第三種郵便物認可（一）

磐城毎日

社長　大和田與兵衛
平市15丁目12番地
發行所　福島縣平市
株式會社　磐城毎日新聞社
編集兼印刷人　遠藤孝倫
發行人　遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番
定價1ケ月50円　1部2円
【夕刊・月曜休刊】

迎歡稿投

"植樹祭"大和田副知事臨席
個人、團体共に表彰さる

石城地方事務所、平市、石城綠化推進會三者共催になる植樹祭については既報の通りであるが二日午前十時半より飯野八幡神社において大和田副知事臨席の下に關係者多數參集して行われた、大和田副知事外來賓挨拶の後同席上造林コンクール成績優秀者を表彰終つて同神社境内裏に杉百本松縦一本づつ植樹午後は市内大通りにプラタナス四百十本を植樹した同席上表彰を受けた者左の通りである（敬稱を略す）

△知事賞田人村綠川增吉、（個人）石城造林株式會社（團体）

△福島縣綠化推進員會長賞植田町鷲末吉（個人）上遠野村森林組合、澤渡村森林組合、川部村（以上團体）

△福島縣森林組合連合會長賞川部村園部岩夫（個人）山田村、入遠野村森林愛護組合（以上團体）

第三回平競輪 收支決算報告
數字が示す向上の途

サヨナラレースに大穴を出して人氣を沸騰させた第三回平競輪は處女公開以來最高の賣上を示して成功の鍵をにぎつたが五月二日その收支決算報告があつた、内譯左の通り（單位圓）

△收入の部
入場料　二三二八〇〇
賣上收得金　四四二六三八〇
雜收入　三四七一〇
計四六九三八九〇

△支收の部
國庫納は金三一九四六四
振興會交付金　五三四五三七
開催費　二九六一五四五
雜費　二九八三八七
計　四一一三九三三
△純益金　五七九九五七

七福定期預金 抽せん會
多彩なプロ

五月五日七十七銀行では平市公會堂に於て第拾回七十七銀行七福定期預金抽せん會を催うするが、當日は七十七銀行取締役會長柏木純一氏も來られて挨拶する外多彩なる演藝などもくりひろげられる　獨樂の曲藝　柳家小志ん　萬才　森のぶ子　ひでみ　輕曲技　東富士夫　ギター　新山悦郎　落語　春風亭柳枝　歌と踊りのバライティ　轟スムと笑の樂團等が特別出演をして和やかな抽せん會を擧行することになつた

日本畫大展覽會
磐城美術新報社主催による

現代日本畫大展覽會は十二日より十六日まで五日間にわたつて市公會堂において開催される

エビスヤに賊侵入
純毛四十ヤールを盜る

二日午前三時頃平市字田町四番地洋品呉服店エビスヤ熊田常治（四）さん方裏口のガラス戸をこじあけて店に侵入純毛布地（但し全部ダブル巾）四〇ヤールを窃盜されたが、同家の店は鐵格子になつているので殆んど不可能であり又藤越裏通りの方の板塀を越えて入つて來たものと推定される

トラック高壓線に衝突へし折る

五月一日午後四時三十分頃草野村下神谷字宿國道路上において大浦村上仁井田運送業賀澤喜一さん所有のトラック：運轉手大野村戸田猪狩久（三五）は故障のため他の自動車に索引されて來たが同地内を通つている三千三百ボルトの電柱に衝突、同電柱をへシ折り電線を切斷傍の警察電話線にふれ警察電話線を切斷したが同夜復舊した

「子供の日」を期して
青少年保護育成運動

人身賣買やら少女賣とばし事件その他子供の基本的人權を無視する事件は頻發しこれらの諸問題を通じて當局え向けられた非難の聲に高く一般識者の憂えている所であるが來る五日子供の日を眼前に控えているいろな行事が行われ兒童憲章も制定される事になつたが、また其の一翼として五日より十八日まで二週間青少年保護育成運動が展開され平勞基署でもその普及並に徹底にのり出した

反盜70反物危く
仙臺屋呉服店前の表戸が開いている

四月三十日午前三時頃平市一丁目を市署員が巡廻中、のを發見不審に想ひ、立寄つたところ反物七十反（時下十萬圓相當）が直ちに運ばれる樣に戸のとこに置いて有るのを見つけた、賊はこの時いち早く氣がつき裏口より逃走してしまつた

赤痢、結核の予防對策
公會堂で講習會

平保健所では二日午前十時より市内公會堂において縣衛生課豫防係柳沼、山路の兩氏及公衆衛生教育主任八鉢木村技師を講師として招き「赤痢」「結核」に關する豫防對策について講習會を開いた、各學校の衛生主任事業上の衛生係員町村の保健衛生婦關係者多數參集盛會であつた

地方選擧も終えて

（柳風子）

一枚の紙にも裏と表があるし、一つの物事に對しても色々な見方がある、人各々によつて異り各人各人の意見や主張はまちまちである、是と評する人もあれば非と論ずる者も出て來て、評は子を生み論は孫を生んで幾何級數的にその見解は數を增して行く、そして更に立場といふものがこれに附帶して益々ヤヤコシイ結果を現出する、今回の地方選擧に於ても右から見る人左から覗く人色眼鏡をかけて見る人、はては顯微鏡まで持ち出して寄生虫が何匹居るわいと騒ぎ立てられたのでは如何なる人でもたまつたものではない、勿論キリストの「汝：石もて打て」の教訓的言辭を弄しようとも思はないが、余りにも烈しい生存競爭の生々しさを見せつけられ、その血のしたたりの臭ひで思はず窒息する樣な息苦しさを感じさせられたのは必ずしも僕ばかりではないだらうされ力である力といふと何かこう奥齒に物のはさまつた感じを抱かされ勝だが凡ゆる意味を含めた力が榮冠を獲得し當選の譽をになつた、第一次第二次と地方選擧も全く濟んで靜かなる午後幾ばくの感慨なしともしない、晴れの新首長、新議員が向後四年間、市、町村政を或は縣政を擔當すべく衆望をになつて立つた今日その持てる力を凡ての意味において善意に生かし働かして盡して戴きたいものだ、敢て贅言を費すまでもない、激烈を極めた今回の地方選擧を喜びを以て懷想出來るこれ等多くの人達に喜びの中に靜かに自らが叫んだ言葉を自分の胸の中でもう一度くり返して戴けたら私達の前途は明るい光明に滿ち溢れる事だらう

地方選擧がすんでホット一息つく暇もなくメーデー憲法發布記念日、子供の日と國家的行事が次々と續き勞働問題、兒童福祉問題等に山積する―そして解決すべき―事柄が走馬燈の樣にめぐり來つて、歩む私達の前途は荊棘のそれで肩には重い荷物のかかつている事をかえり見る

本紙も間もなくこの慌しい空氣の中に創刊一周年を迎える、去來する感情の波はいかが、決して穩かとは言い得ない評は評、論は論その評の是をとりかの論の正を受け自らの進み行く道しるべにしようと努めている誤らんが改めむ、正しからんか歩み行こう、唯ひたすらにささやかながらも眞實に生きようとして

社告

五月四日付の新聞は憲法發布記念日に付休刊致します

磐城毎日新聞社

大會催し

綿アンダーシャツとYシャツの會
婦人子供メリヤスとベビ用品の會
男女バンドの會
ピアス化粧料指導の會

常に皆樣の利益を護る
平の大黒屋

5月1日ヨリ 5月6日マデ
好評感謝
純綿新値大會

御好評に答へまして東京問屋さんの御協力を願ひまして續々新値段品が入荷致しております
御來店の上御一覽下さい

中映上立二本
新東寶青春篇
戀人
池部良　久慈あさみ
ジルバの鐵平
市川右太衛門　濱田百合子

衣料品の店 かみや
平市二丁目 T.256

あつい鍋燒うどん
特製支那そば
さかえ
速迅出前
平角東前驛
電話九八八番

あらゆる印刷は
大和田印刷所
平市中町 電七二九番

磐城毎日新聞　5月3日（木曜日）第284號
昭和25年7月6日　昭和26年(1951)　(二)　第三種郵便物認可

春季野球 ……平工高をお訪ねして…… チームワークに重點 打線に期待

メーデー歌が五月の青い空につた平工高ではあつたがしかし本年度は、わづか三人に記者は足を向け野球部の先生にお逢して本年度の平工の力を打診して見た、昨年迄は良く練習の時よりも試合の時の方が打撃の凄かが良く主戰を勤め、今年は投手の新人が入つていないので投手陣が幾分不足と見られる、內野手は一壘の鎌田二壘の柳沼、遊撃の大橋そして三壘の小川なと堅い內野陣である、濱通り隨一とうたはれた捕手長瀬を常磐に送りその後釜に、長瀬に劣らぬ豊島がホームを守つている、打撃はなんと言つても松崎、福原、柳沼なとが主力打者でこの打線がひとたび火を吐き又堅い內野陣が形成されゝば郡下制覇に持つて行かれるだらうと思う、しかし福原、松本等の外野はもつと固い鐵桶の陣を張る必要があらう、投手陣を強化すれば良いチームになり今年はチームワークとバッテングに重點を向けて練習をしていると部長さんは語つている、先日の試合に於いて磐高に破れた原因は大平投手が肩をいためて完投出來なかつたのと左翼手福原が出場出來なかつたのが大きな敗因のもとであつたが、こうして今季地區豫選に敗れたりといえどその力は侮り辱い、平商、磐高の好敵手として本年開催の十五試合には必らずや今日の苦杯を榮冠に取りかへることだらうと豫想せられる

平川沼崎原島木橋田
大小柳松福豊鈴大鐘
1 6 4 8 7 2 9 5 3

アメリカ視察講演會

郷土出身草野氏語る

五月四日午後二時より平市公會堂日本間に於て、平商票を獲得し功を奏すの感が工會議所主催、後援平市役有つた、現役の强味を如實所の下にアメリカ視察講演に示した小野義一君の票は會を行う、講師は草野義一順當といえ様倘進歩系の小氏で、氏は日本經金屬社長野幸次郎君の奪戰苦闘は克として二期をつとのた鄕士く得票の上に現はれいた上小川村出身の偉材で磐中をいで小樽高商に學び卒後古河系第一銀行熊本支店長などをつとめ、今日に至つたもので、講和問題が微妙な動きを見せている今日氏の豊富な經驗から見たアメリカ經濟視察の經過は地方民にとつて相當な關心をもたれることゝして期待されている

トロツコ車輪 ドロすぐ捕る

五月一日午前五時頃平工業高等學校校庭よりトロツコの車輪二ケを窃盗逃走せんとした、平市字立町五番地日雇山野邊勇次(二九)を現場つた南京錠に入れて持ち去つた損害約三千五百圓で有附近を警戒中の指導員青山秋雄(三五)さんに發見逮捕さる

湯本婦人會春季總會

五日午前十時から石城郡湯本町婦人會では公民館にて春季總會を開いて二十六年度事業計畫を相談、また午後一時から七十歳以上の老人を招き敬老會を催す

小名濱出身候補 信賴票を獲得す

小名濱町は宛う一大亂戰を極めた縣議選擧戰は地元候補にどれだけの好意と信賴を以て臨むかを試驗されたものであつたが、結果に於ては能く理解した投票結果と言え得るものである、殊に小名濱出身の大井川正己(民前)庄司濱吉(無新)の兩

常磐線スリ横行

平公安管內一日四件に及ぶ

越二二農木幡昭男(三三)は小名濱驛又は泉驛に乘換の時に二千四百七十圓スられた

▲逆運輸省小名濱港工事事務所長をヤ

二十八日午前八時頃突如として茅屋を訪ねて呉れた、一紳士があつた、誰かと見ると運輸省小名濱港工事事務所長青島茂一氏であつた何事かと挨拶をもどかしく何事ですかと問えかけた、青島氏はいと懇うに、實は今度山陽道の宇野港事務所に轉勤を命ぜられたので、

青島所長が本港に赴任したのはたしかに二十二年三月と記憶して居る、そして、東亞大戰の煽りを喰つて事業の進捗が甚だしく悪い時に築港費を國費から支出せしめ様とする本港事業が如何に骨折れしかを思えやる時に餘りある、其難局を打開して遂に終戰後と雖も一歩も引かずに工事の施行に勤めて來たのが青島所長である、愈々終戰後の港灣修築問題は容易でないと云ふ事に落ちついた時、本港完

然し素より官僚である以上辭令一通で轉任が常である以上何とも致方のない問題である、殊に榮轉としての動きである以上何としても抑え難い處である、聞く處によれば、後任者は、横濱港事務所の次席技官であると云ふか、年若きに似ず眞摯な熱誠に富む人材である事を傳えられて居る、せめてこれが何よりの小名濱港に取つての僥倖である、所長行け行つて小名濱港の前途を忘れずに、大いに援助の手を伸べてほしい、今は多くを語らない、只健在にして邦家の爲めに精勵されん事を祈つて送辭とする

罰金未納に收監狀

地檢平支部では二十八日罰金未納額が二十萬圓の高額に登つたので、內鄕町宮菊地芳一外十九名に對して收監狀を送達し納入なき者に對しては平拘置所に收容する

町內對抗野球

平市連合青年會では來る十九、二十の兩日連合青年會加入の町內から青年會を主体とする町內チームによる町內對抗の野球試合を行ふ詳細は十二日の評議員會により決定される

梗い讀み

花散り果てゝ新緑の萠え出る今日此頃五月といつてもはや汗ばむ程の陽氣である八十八夜と共に夏の近づくのを想はせるものは金魚であらうか、散歩の途次眼にとまつた金魚屋さん、ふと僕は岡本かの子を思ひ出す弱き物にドンランな欲望をたぎらせて迫つて行つた岡本かの子女史の名作金魚が僕の學生の頃のノスタルヂヤーとなつてたまらない感傷を覺えるのだ、春といつても春、花散りて落漠、夏來らおとして未だ五月不均衡な空氣の中に見た金魚屋さん、變動と渾沌と悲哀と仰愁とを乘せて夏來らむとして來り難し!!

貸席
呂風族家と房茶風和
山志乃
平市仲町21 電話280番

つゞら
今が見頃です!!
溫泉に入りながらつゞらが見られます
如何ぞお氣輕に御いで下さい
新緑の行樂は鎌田山の
御飯 山荘 電二九四番
同別飯

整形外科 入院室
胃腸科 完備
放射線科
外科
內科 (特設)
竹林病院
平市十五丁目 (元平病院)
電話八一六・六〇八番
看護婦募集 免許證ある方 廿三才まで

飲食 (十八才より廿四、五才迄給料は面談の上)
女給さん急募!!
とお酒の店
平市本局前 電五二八

母の健康
一本の牛乳から
川角牛乳店
平下 磐城

皆樣の魚店
磐城名産 鹽鰹節
申込先 市內大町 ミヅノ氷室へ
丸市屋
平市四丁目
電話二一三番